

三次・庄原支部

MIYOSHI · SHOBARA

だより

広島県看護協会三次庄原支部会員数

保健師	14人(入会率18%)
助産師	39人(入会率122%)
看護師	753人(入会率70%)
准看護師	55人(入会率11%)
合計	861人(入会率51%)

三次の霧の海(高谷山から撮影)

ごあいさつ



地域をつなぐ看護の力

支部長 **福原 真理**
[市立三次中央病院]

令和3年度より、三次・庄原支部の支部長に就任いたしました。

平素より、会員の皆様には、三次・庄原支部の活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

昨年度から続く、新型コロナウイルス感染症は、オリンピック等の人流の影響もあり、未だ終息の目途が立たない状況が続いています。この支部だよりが皆様のお手元に届く頃には、落ち着いていることを願います。

このような中でも、三次・庄原支部においては、医療・介護・福祉・行政が連携し、新型コロナウイルス感染症の情報共有と対応について、一体感を持った取り組みがされていると感じています。

医療の現場では、日々の感染防止対策の継続や長引く面会禁止の中で、ITを使った面会方法や地域への連携の実践がされています。支部活動においても、昨年度は感染の影響で、当初計画していた多くの支部事業の中止を余儀なくされましたが、多職種連携事業では、新たにWebでの研修会が開催され多くの方が参加されました。

今年度の事業計画では、看護職の人材育成・定着推進事業として、「リフレクション」看護研究サポート 身体抑制シンポジウム第2弾を計画しております。また多職種連携研修では、地域と医療の連携を強化した「生活者の視点」が持てる取り組みが計画されています。会員の皆様方の多くのご参加をいただき、看護職の連携のみならず、地域とつながる活動ができるようにしていきたいと思っております。

どうぞよろしく願いいたします。



ご挨拶

支部担当理事 **谷口 理恵**
[庄原赤十字病院]

2021年度がはじまり早いもので折返しとなりました。新型コロナウイルス感染拡大が続く中、社会において看護職の活躍が強く求められています。陽性患者対応やワクチン接種はもちろんの事、感染にまつわる生活過程を支える所には、必ず看護が必要になります。看護職の皆さんは、長引く感染症対応に真摯に向かい合い、勇敢に活躍しています。広島県看護協会は連盟と協働し、看護職が活動しやすい環境調整や看護職を護るための活動を行っています。また、昨年は県協会の活動が多く中止になったことを受け、オンラインによる研修や会議等の開催など看護の質を担保するための工夫がなされています。どのような時でも、活躍できる看護師の育成は欠かすことはできません。三次・庄原支部におきましても地域医療に貢献できるよう、看護職を支援し期待される看護が提供できるように協働しましょう。まだ終息は見えませんが、困った時にも何かヒントがあるはず。思考と創造で乗り切って行きましょう。



三次・庄原支部 役員紹介



支部担当理事
谷口 理恵
[庄原赤十字病院]



支部長
福原 真理
[市立三次中央病院]



副支部長
佐藤 美樹
[庄原赤十字病院]



副支部長
新川 篤子
[三次地区医療センター]



総務
中田 千代里
[ビハーラ花の里病院]



総務
吉原 由美
[市立三次中央病院]



財務
田坂 晃子
[庄原赤十字病院]



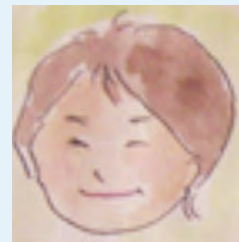
教育
那須 敏子
[三次看護専門学校]



教育
杉広 ひとみ
[子鹿医療療育センター]



社経
竹上 敬子
[庄原市立西城市民病院]



社経
坂上 真千子
[三次地区医療センター]

絵：佐藤 美樹

三次・庄原支部 新役員紹介



幹事(教育) **杉広 ひとみ**
[子鹿医療療育センター]

今年度より新しく役員となりました。分からないことばかりですが、少しでもお役に立てるように頑張りたいと思います。よろしくお願ひ致します。



幹事(教育) **那須 敏子**
[県立三次看護専門学校]

コロナ禍のため、支部活動は制限されますが皆様のお役に立てるように取り組んでまいります。宜しくお願いします。

役員一同 支部活動が、会員の皆様にとりまして有意義なものになるように頑張つて参ります。
ご協力をよろしくお願い致します。

事業報告 ～令和2年度後半から3年度～

令和2年度 看護研究発表会・令和3年度 看護研究サポート研修会

令和3年2月27日(土)に看護研究発表会を、市立三次中央病院で行いました。

看護研究サポートは、昨年に引き続き広島県立大学保健福祉学部看護学科 母性看護学を担当されている伊藤良子先生から、指導・助言を頂きながら研究を進めていきました。そして、発表会当日56名の参加者のもと、サポート研究の4題は発表の場で研究の成果を発表することができました。会場から積極的に質問もあり活発な意見交換ができ、研究者の行った看護の共有につながりました。また、「コロナウイルス感染症による面会制限に対する患者と家族の思い」と、今まさに私達看護師が対峙していることに対して、今後の対応につながる内容もありました。

令和3年度の研究サポート事業もスタートし、コロナウイルスの感染拡大状況の終息が見えない状況の中、今年度は2施設3題の申し込みを頂き、5月29日(土)に電話相談という形で学習会を開催することができました。研究者の人

達は、先生から助言・指導を受けながら研究に取り組んでいます。その成果を、令和4年2月26日(土)研究発表会で、皆さんで共有し看護実践に活かしていきましょう。

小河 朋子 (広島県立三次看護専門学校)



令和3年度 まちの保健室

7月30日 庄原市総領町のサロンへ伺い、お口の健康についてお話をさせていただきました。女性の参加者8名で、感染防止対策を行いながら行いました。

参加者は、普段から口の健康に関心が高く、口腔保清やかかりつけの歯科を持っておられる方がほとんどでした。看護協会が作成しているリーフレットを使用し、口の健康に必要なことを伝えながら質問に答えたり、参加者同士でアドバイスされたり…活発な意見交換が行えました。質問の中で、「義歯がなく普通に食事をしているが、歯肉は徐々

に鍛えられ、歯の代わりになるのか?」ということがありました。「代わりにはならないので、可能であれば義歯を作成してほしいです。義歯を作成して噛むことが出来れば、ないよりも食べられるレパートリーが広がり、認知機能低下の予防など、体への様々な効果が得られます。」とお伝えしました。

口や歯を大切にすることで、いつまでも食べたいものを食べることが出来る、こんな幸せがいつまでも続くといいなあ…と話して終わりました。

竹岡 雅美 (庄原赤十字病院)

令和3年度事業

実施年月日	事業	場所
令和3年5月29日(土)	看護研究サポート研修会	資料配布 TEL指導
令和3年8月7・21日(土) →中止	BLS研修会	市立三次中央病院 庄原赤十字病院
令和3年7月10日(土)	多職種連携研修会『認知症を多職種と考え学習する』	Zoom研修
令和3年8月18日(水)→中止	進路相談会	三次地区医療センター
令和3年9月 →中止	進路相談会	庄原赤十字病院
令和3年9月10～30日 令和3年10月5・6日(火・水)	多職種連携研修会 『ノーリフティング化におけるリスクマネジメント』 eラーニング事前学習する 導入のために組織体制を整える 研修会の振り返り	Zoom研修 みよしまちづくりセンター
令和3年9月17日(金)	多職種連携研修会 『在宅緩和ケアとACP～新型コロナ禍における留意点』	Zoom研修
令和3年12月未定	社会経済研修会『身体抑制シンポジウムパート2』	庄原赤十字病院
令和3年12月未定	組織強化研修会『リフレクション』	市立三次中央病院
令和4年2月26日(土)	看護研究発表会	市立三次中央病院
令和3年7月～令和4年2月 (1～2回/月)	まちの保健室	三次市畑原集会所・三次市神杉・庄原市 高茂公民館・庄原市総領自治振興センター

New Face!

頑張っている新人看護師紹介!



看護師 **梅木 愛理** [庄原市立西城市民病院]

4月からお世話になっております。幼いころから目標であった看護師として働くことに喜びを感じています。今はわからないことばかりで不安ですが、優しく丁寧に教えてくださる先輩方から多くのことを学びながら頑張っています。

就職して数か月経ち、疾患と症状を関連付けて状態観察をするよう心がけています。覚えることが多くあり大変ですが、わからないことは聞いたり、先輩の行動や対応を見て吸収したりするようにしています。患者様が安心して療養生活が送れるように患者様とご家族の方に寄り添い、心の支えとなる看護師になれるように頑張ります。

看護師 **田原 美和子** [三次地区医療センター]

調剤薬局の事務の仕事をしている時に専門的な知識を基に患者様のサポートをする看護師の仕事に興味を持つようになりました。年齢のこともあり悩みましたが思い切ってこの道に進むことを決め、専門学校に通い、4月より看護師として療養病棟で働かせていただいています。

入職して半年が経過しようとしてますが、患者様の命を預かるとてもやりがいのある仕事だと実感しています。自分の知識不足の焦りや不安がありますが、患者様の安全を第一に考え臨機応変な対応が出来るよう努力します。



編集後記

今年度はコロナの影響で支部活動が十分に出来ず皆様にお伝えする内容が少なくなりました。コロナが1日でも早く終息し、支部活動ができる日が戻ることを願います☆
社経 坂上・竹上

[発行日] 令和3年10月1日発行

[発行所] 公益社団法人広島県看護協会 三次・庄原支部
〒727-0013 広島県庄原市西本町2-10-2 OKUDAハウス101
TEL/FAX:0824-72-5015 E-mail: s-miyoshi@nurse-hiroshima.or.jp

[発行責任者] 福原 真理